

講義名	対)卒業研究		
講義コード	44411	授業形態	演習
担当教員	木村 敏夫		
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限		
備考			

ゼミ
財務分析と企業評価
学部
商学部
学科
経営学会
演習名
木村敏夫

### 概要説明

本演習の目標は、「会社を知る」ことに在る。その方法を考える。企業が公表する会社は、沿革、株式、株主、生産・販売等の情報が記載される「有価証券報告書」、IR情報等を主に利用して「企業」の現状・将来を把握する方法を学ぶことにある。会社が公開する情報の大半が財務情報である。したがって、主に、財務情報等を助けて、「企業（会社）」を見る、分析し、評価する。企業の財務情報を理解するには、その情報を作成の基礎である「企業会計」「財務（管理）論」の理解が不可欠である。企業が行う経済活動（資本調達、資本運用・生産・販売等）は企業会計の仕組みを通して認識・測定、記録され、一定期間別に財務報告書に要約される。企業を分析する資料として財務報告書の理解が不可欠である。このため、本演習は、分析資料を作成する基礎となる「企業会計」を学習し、最終的に財務報告書に要約された有価証券報告書等の企業情報に示される「情報」が何を意味しているのか、さらに、企業の現状、将来の状況を分析するために如何に利用できるか、またその限界を修得することを演習目的とする。

学位
商学士

### 教員よりの要望

自他とも認める劣等生ですから自戒を込めて言います。耳が痛い人も多くいるでしょう。痛いと感じてほしいですが、「人」として生まれたからには「人」として生きていく力が内在する。時間とともにその力（能力）が形成されていくのではないかと、一言で言えば「学び、です（学ぶことをしない、わずれた人は「人」として成立しない、人以下でしょうか、人格の形成できない）、小学校、中学、高校、地球、親戚、友人等から学んできていませんか。「人間（ひと）は誰でも生きていく能力を持って生まれている。人として生まれ、人の社会組織で生きていくために、学びを忘れているかもしれません」。皆さん、これまで、能力を形成するためなにかしてききましたか、自分に備わっている（学び取る、自ら学ぶ）能力を使ってないのでは、その能力を使えるようにしないのですか、使い方を知らずとしなかつたのではないですか（自省、内省）。能力は使うほど伸びますし、蓄えられていきます。最近、言われている「格差」とは、能力を蓄えてきていないか、使うが使わなかったかの差ではないのかな。これが今後の課題だね。格差は置かれた諸環境に左右されることは事実として存在するとしても、その格差の下にわれわれはいる。所与としようよ。それを受け入れようよ。ではどうする。努力が結果、経済的な結果に結びつかないと思っいてませんか、無駄だと思っいてませんか、努力に勝る才能はない、努力（時間と金がかかり苦痛を伴う）して獲得したものは一生の「資産」になる。ところが、この資産、一生償却することはない（なくならない、価値が減らない）。努力しないで（努力を使わず）取得したものは「泡と消えます」（何も残らない、パブルです）が、努力して得た資産は、目に見えない「永久資産・無形資産」（何れ形を成して出現する）になる。

### 教員英字氏名

### 研究室

2704

### 最終学歴

専修大学大学院商学研究科博士後期課程満期退学

### 主な研究活動・社会活動・研究業績

「事業継続とキャッシュ指標」流通科学大学論集（流通・経営編）第29巻第1号（2016.7）57-80頁。  
「更生・再生会社と財務業績指標」流通科学論集（経済・情報・政策編）第25巻第1号（2016.7）43-66頁  
「グローバル経済と国際会計-欧州地域から」専修総合科学研究（専修大学）第23号（2015.10）115-130頁。  
「債務再構成とキャッシュ指標-債務返済能力指標試案」流通科学論集（経済・情報・政策編）第24巻第1号（2015.7）49-66頁。  
「コーポレートファイナンス」共著（2015.1）学文社、第3章（41-63頁）、第5章（93-115頁）、第8章（153-176頁）。  
「キャッシュフロー情報と財務業績評価-キャッシュ創出力の再考-」流通科学論集（経済・情報・政策編）第23巻第2号（2015.1）15-33頁。  
「ズバットわかる会計学」共著（2014.8）同文館、第6巻「キャッシュフロー計算書」（85-104頁）。  
「財務業績と財務情報の再構築-収益性指標の再検討-」流通科学論集（経済・情報・政策編）第23巻第1号（2014.7）59-78頁。  
「欧州経済統合と北欧の財務報告制度」『商学研究』（慶知学院大学）第54巻第3・4号（2014.3）、51-63頁。  
「利益創作とキャッシュ-会計不正の事例検証」流通科学大学論集（流通・経営編）第26巻第2号（2014.1）35-54頁。  
「北欧と欧州政治経済統合-財務報告制度の成立背景」流通科学論集（経済・情報・政策編）第22巻第2号（2014.1）33-57頁。  
「会計監査と資本市場の監視機能-会計不正と訴訟の事例-」流通科学論集（経済・情報・政策編）第21巻第2号（2013.1）1-20頁。  
「報告利益とキャッシュ-キャッシュフロー計算書の分析可能性の再考」『経済科学』（名古屋大学）第59巻4号（2012.3）19-35頁。  
「会計監査人異動会計の財務分析-報告利益とキャッシュフロー-」『流通科学大学論集』（流通・経営編）第24巻第2号（2012.1）27-47頁。  
「会計監査人異動会社の経営分析-経営事象の事例研究-」『流通科学大学論集』（経済・経営情報・政策編）第20巻第2号（2012.1）91-115頁。

### 主な卒業論文のタイトル

- フジッコ株式会社の財務分析
- アイフォセント株式会社の財務分析
- CSKホールディング財務情報分析
- 兵庫県信用組合の財務分析
- リーマンショックとはなんだったのか
- V字回復の本質-日本マクドナルドホールディングス.....等

### 趣味・特技

### 所属

商学部経営学科

### 所属学会

日本会計研究学会、日本経済会計学会、日本マネジメント学会等

### 専門分野

会計と財務

### 選考方法

### 担当科目

### 備考

### 評価方法

### 実務経験の有無及び活用